

平成26年 8月18日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

宮古盛岡横断道路 「平津戸松草道路」・「区界道路」起工式のお知らせ ～宮古盛岡横断道路 全工区で工事着工へ～

宮古盛岡横断道路を構成する「平津戸松草道路」及び「区界道路」は、震災後に事業化（平成23年11月）された復興支援道路です。これまで調査・設計・用地取得等を進めてきたところですが、この度、工事着手の運びとなりました。これにより宮古盛岡横断道路は全工区で工事着工することとなります。

つきましては、被災地の一日も早い復興と工事の安全、早期完成を祈念して、下記のとおり起工式を執り行うこととなりましたので お知らせいたします。

記

1. 日 時：平成26年 8月24日（日） 10時30分より
2. 場 所：岩手県宮古市区界第一地割地内 （別添会場案内図参照）
（区界道路新区界トンネル宮古市側坑口）
3. 主 催：岩手県、盛岡市、宮古市、国土交通省岩手河川国道事務所
4. 起工式の内容：挨拶、鍬入れ等

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会>

（問い合わせ先）

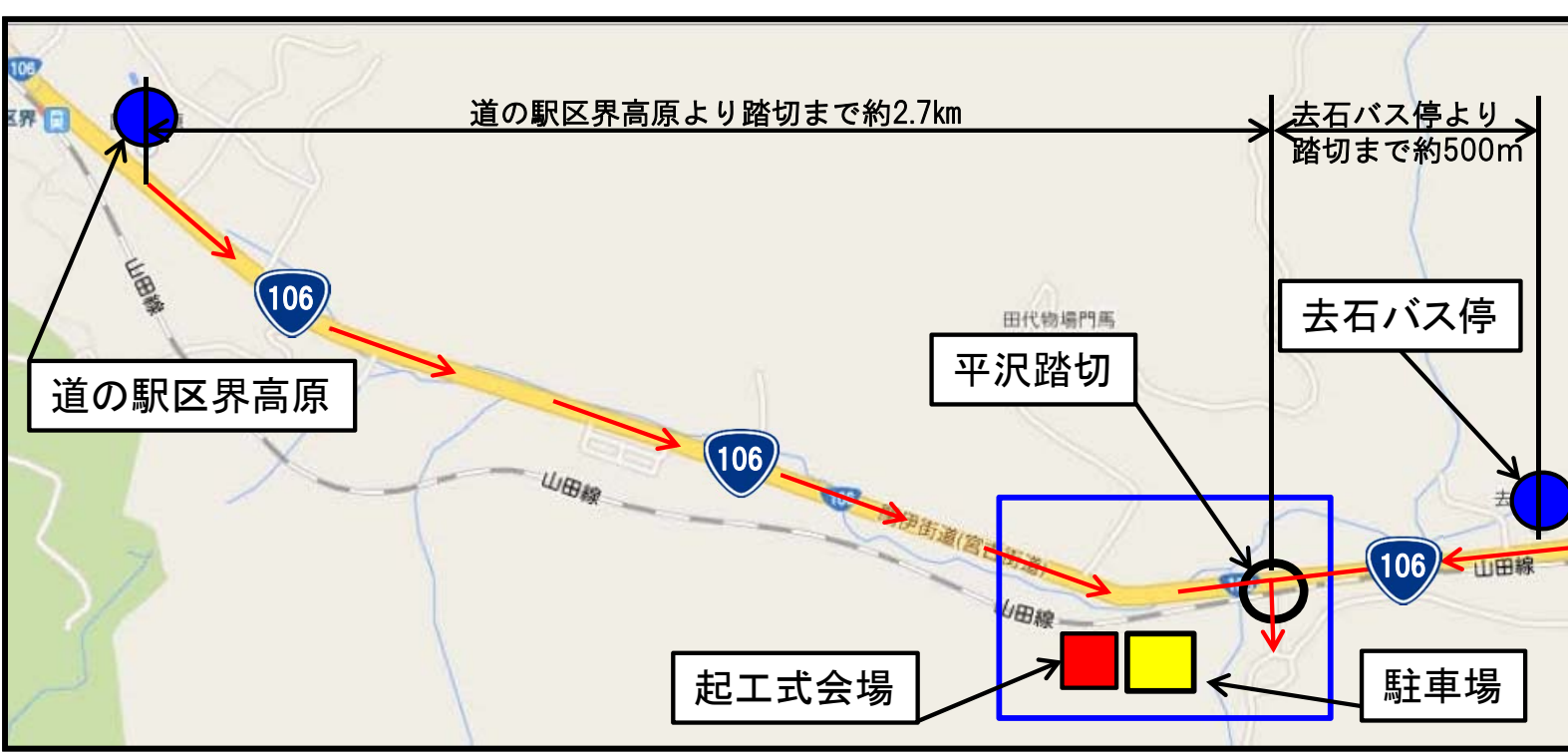
国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

TEL 019-624-3131

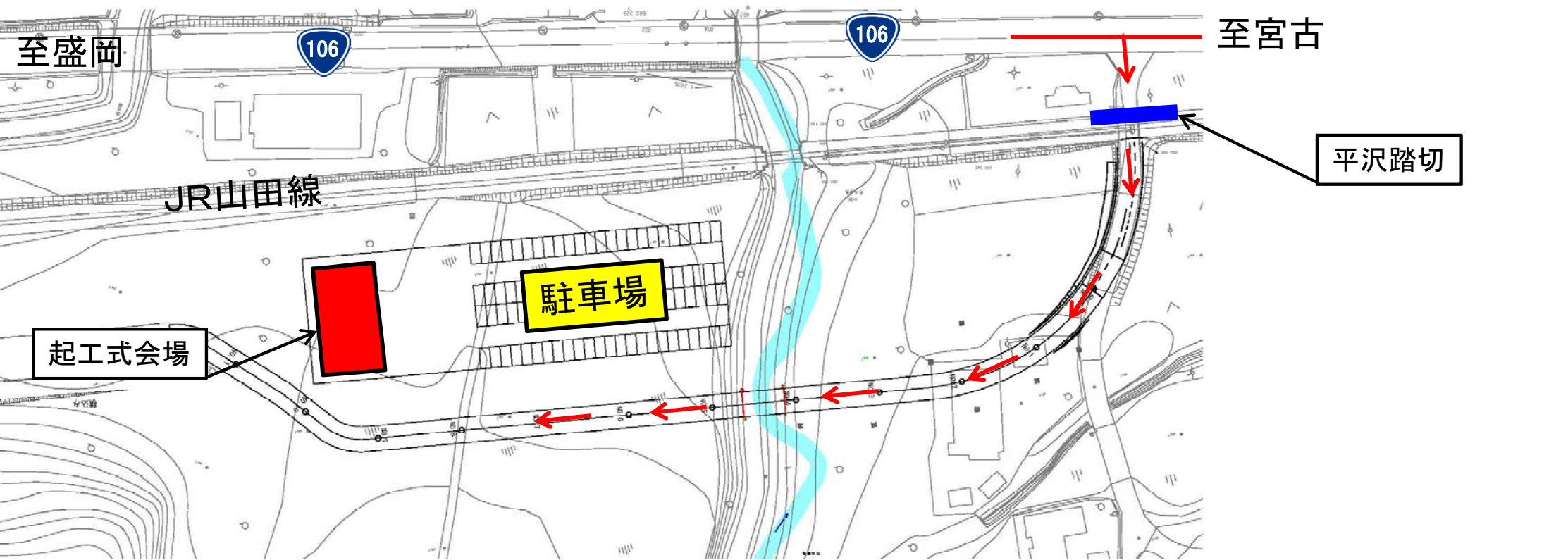
副 所 長 かめい 井 督 まさよし 悦（内線205）

工務第二課長 とのさき 外 崎 たかひろ 高 広（内線411）

会場案内図

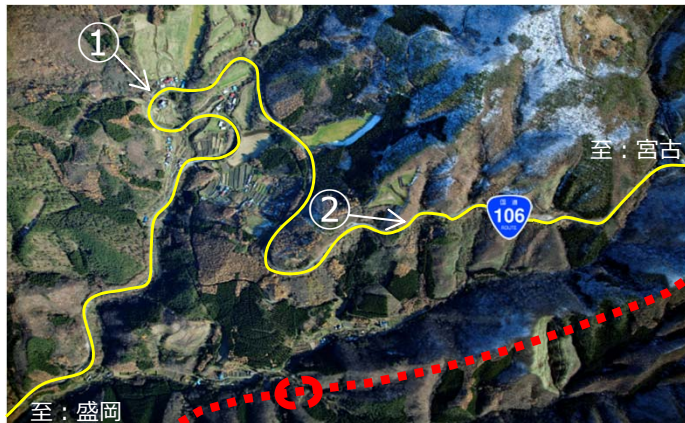
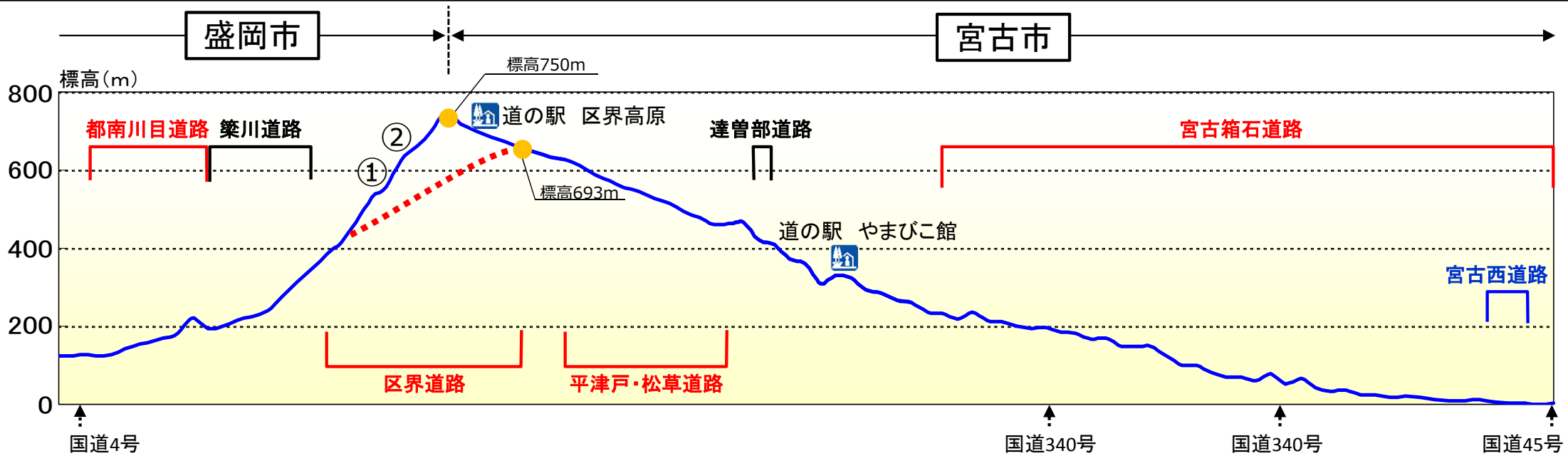


踏切の200m手前より案内看板を設置しております。踏切付近より駐車場までは案内看板及び係員の誘導によりお進み下さい。



国道106号最大の難所が解消

- ◆ 宮古～盛岡間の国道106号で最も標高が高い「区界峠」が地域間交流の障害
- ◆ 最大難所の解消により、宮古地域～盛岡地域の交流機会の増加による地域間交流を促進



▲ 区界地区の急カーブ状況



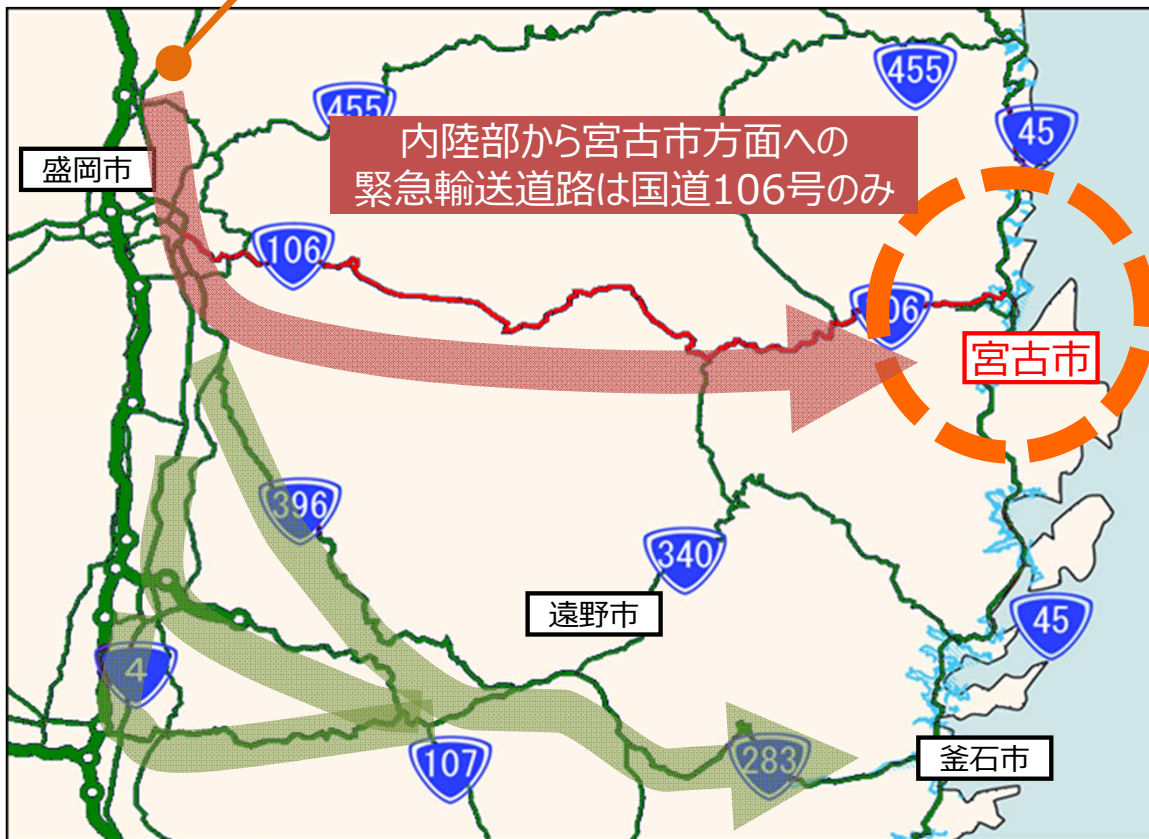
災害時における緊急輸送道路の確保

- ◆ 東日本大震災では、宮古市等の沿岸地域で甚大な被害が発生
- ◆ 宮古盛岡横断道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点（滝沢市）

国道106号 救援支援物資輸送612回
3月12日～4月末：県トラック協会契約分



内陸部から宮古市方面への
緊急輸送道路は国道106号のみ

宮古市

緊急輸送道路



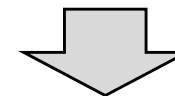
津波浸水区域



▼ 東日本大震災時の状況（宮古市）



写真：岩手日報社宮古支局 撮影



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- ◆宮古地域の管外搬送の約95%は、盛岡市内の医療施設へ救急搬送
- ◆宮古盛岡横断道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

回数：17回
合計時間：112時間

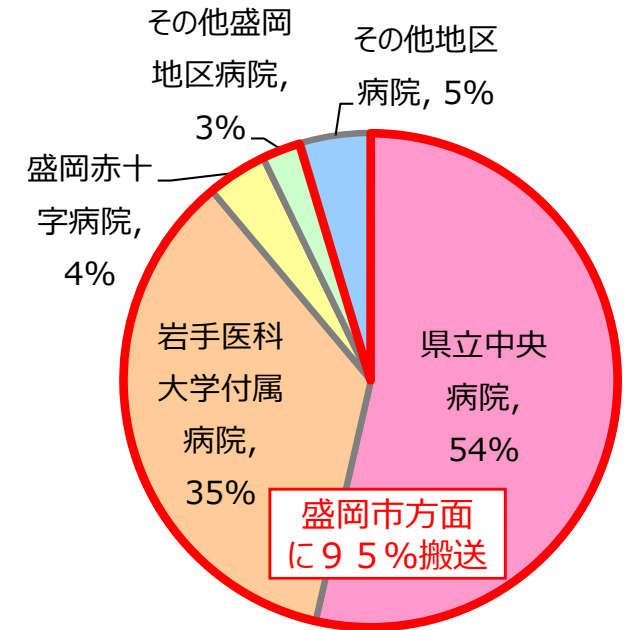


急カーブ集中区間
23箇所

急カーブ集中区間
12箇所

急カーブ集中区間
14箇所

▼宮古地域の管外搬送状況

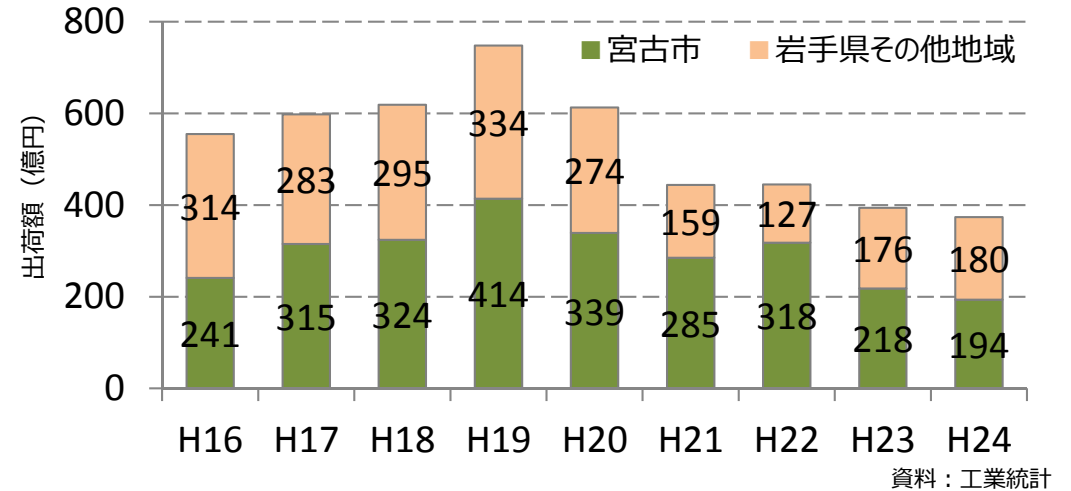


沿岸地域の主要産業の復興を支援

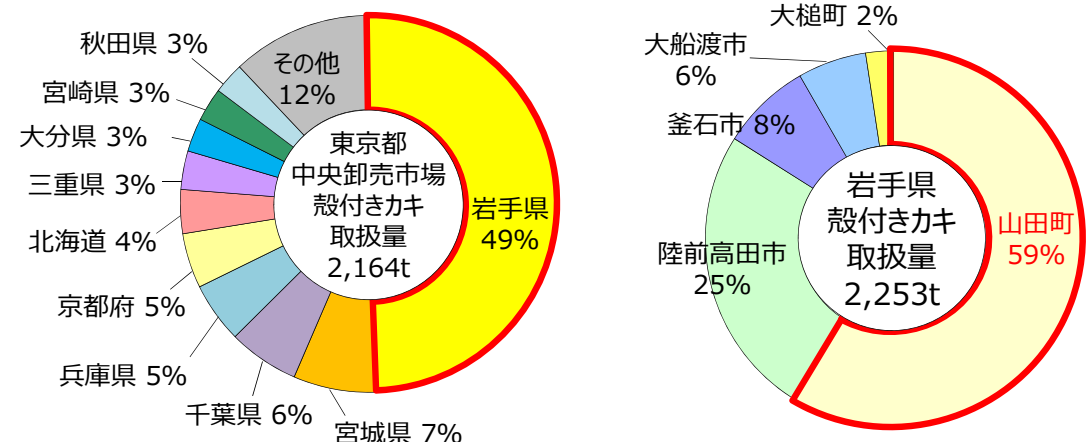
- ◆ 宮古市のコネクタ製造や山田町の養殖カキ生産は、宮古地域を代表する産業
- ◆ 宮古盛岡横断道路は、輸送時間の短縮など物流効率化を促進し、沿岸地域の早期復興を支援

▼ 岩手県内のコネクタ出荷額の推移

岩手県が全国 7 位の出荷額



▼ 岩手県殻付きカキ取扱量



資料：東京都中央卸売市場年報（H22年度）

資料：岩手県における主な浅海増養殖魚種別生産高（H22年度）
※ 135g / 個として算出した概算値



【コネクタ】



【カキ】

